

月刊 さいとう健

LIBERAL & DEMOCRATIC

自由民主

発行所: 自由民主党本部 定価1部108円(税込) 毎週火曜日発行
住所: 〒100-8910 東京都千代田区永田町1-11-23
電話: 03-3581-6211(代表) ホームページ: <http://www.jimin.jp/>

《 ミニプロフィール 》

昭和34年、小さな写真屋に生まれる。
大学時代は、ハンドボール部のキャプテンとして活躍。
零細企業に育ったこともあり、中小企業を担当する通商産業省に入省。
日米交渉や行政改革、地方行政(埼玉県副知事に出向)などに携わる。
平成18年衆議院千葉七区補欠選挙にて公募により選ばれるも、惜敗。
平成21年衆議院総選挙において、初当選。4期目。環境大臣政務官、
党副幹事長、党農林部会長、農林水産副大臣、農林水産大臣を経て、現
在、衆議院予算委員会理事としてコロナ対策などの予算成立に奮闘中。
[趣味] ハンドボール、カラオケ、読書、映画
[好きな食べ物] ラーメン、焼肉(特にカルビとハラミ)
[尊敬する人物] 高杉晋作、原敬、鈴木貫太郎



やっぱり
この界だ!

号外
令和3年8月19日発行

「コロナのあとに
来るもの」
「こどもたちの
ために！」

コロナのあとに来るもの

これまで、コロナに関してこの「月刊さいとう健」で何度か訴えてまいりましたが、今号では、コロナ後について、さいとう健の考えを簡単に触れてみたいと思います。

コロナの危機が我々に教えたものは何だったのでしょうか。PCR検査も十分に行えなかった、ワクチンも開発できなかった、ワクチン接種も遅れた、デジタル化の遅れにも目を覆ったし、グリーン投資でも劣後。もはや、日本は先進国とは言えないのではないかと。コロナの危機が我々に教えたものは、このことだったのではないのでしょうか。

私は、コロナの危機が去ったあとに、我が国の国政は正念場を迎えるのではないかと考えてならないのです。

コロナ対策で巨額の財政支出を行ったために、財政再建をどうするかという深刻な政治課題が残されました。デジタル化の遅れは致命的で我が国の産業競争力の遅れも取り戻していかねばなりません。コロナの危機は、我が国の少子化を一気に進め、今までのような生ぬるい政策ではない抜本的な少子化対策も断行しなければなりません。アメリカと中国の激突のはざまでのしたたかな外交力も問われます。これらは、ほんの一部に過ぎません。

これから迎える衆議院の選挙は、まさに、日本の将来がかかったこういった重い政策課題を一体どの政党がよりましに対応していくことが出来るのか、そのことも問われているのだと思います。

確かに、政府自民党のコロナに対する対応は、私の目から見ても問題の多いものでありました。この点については、事態が落ち着いたあと、徹底的な検証を行っていかねばなりません。政治と金の問題もいったいいつまで同じことをやっているんだと怒りを禁じえません。そういったことについて、政府与党は気に入らん、お灸をすえるという気持ちは分かるし、それも本当に大事なことです。今度の衆議院の選挙で問われなければならないのは、決してそれだけではない。日本の将来を決するとも言える多くの難問に対して、いったいどの政党がよりましに答えを出し、実際に実行に移せるのか、この視点を是非見失わないで判断していただきたい。私は、切にそう願っています。



予算委員会理事としてコロナ関連予算の成立と、ワクチン接種を含めた医療体制の確保に尽力。



公明党角田秀穂さんと連携を取り、コロナ禍の支援策を打ち出しています。

子どもたちのために！

昨年の児童生徒の自殺者が499人と統計開始以来過去最高となり、令和元年度の児童虐待相談は19万件を超え、いじめやセクハラ、厳しすぎる指導などもあって不登校児童数が何と18万人に上っています。昨年発表されたユニセフ（国連児童基金）調査では、日本の子どもの精神的幸福度はOECD38か国中37位となっています。

さいとう健は子どもたちが置かれた現状はまさに緊急事態と考え、これまで子育て支援のために積極的、具体的に行動して来ました。今回はそのアクションの内容をご紹介します。

①ひとり親世帯への臨時特別給付金などの支給

さいとう健は自民党の「母子寡婦福祉対策議員連盟」に参加し、コロナ禍でひとり親世帯や家計が悪化した方を少しでも支援するため、令和2年度の2次補正予算を利用して、児童一人当たり5万円（第2子以降は一人当たり3万円）を給付させていただき、さらに本年2月には予備費を活用して1世帯に5万円、再給付しました。また、本年度は、ひとり親ではない低所得世帯向けにも「子育て世帯生活支援特別給付金」を児童一人当たり5万円支給しています。

同議連ではさらに、児童扶養手当の抜本的な制度改正や、ひとり親世帯の就職支援や教育支援（自習のための学校提供や自習教材の提供など）などを内容とする要望書を策定中です。

②いわゆる「ひきこもり」対策の推進

さいとう健は、党の「いわゆる『ひきこもり』の社会参画を考えるプロジェクトチーム」の座長代理として、ひきこもり政策推進のための基本法の制定や官民の関係機関の連携強化による支援の徹底などを内容とする提言書を、菅総理や孤独・孤立対策担当大臣の坂本哲志大臣に申し入れました。その結果、政府内にひきこもり関係府省横断の会議が置かれることとなりました。

③学童保育の拡充

さいとう健は自民党の「学童保育（放課後児童クラブ）推進議員の会」の代表幹事を務め、共働きのご家庭が増え、女性の活躍を応援するため、今年度末までに約147万人の受け皿を設け、令和5年度末には152万人とする目標を必ず実現するよう、下村政調会長に申し入れを行いました。

④こども庁設立提言とこども第一の政策実現へ

さいとう健は党の「Children Firstのこども行政のあり方勉強会」に精力的に参加して、今春には第一次提言を策定し、「こども庁」設立の動きにつながりました。また、こども庁設立という組織論だけに陥らず、こども第一の政策を実質的に推進しようと、月末には第二次提言を出しました。その後も活動を継続しています。

⑤「こども宅食」への政府備蓄米を提供

さいとう健は、昨年度、農水大臣に働き掛けて、コロナ禍の中で「こども食堂」に代わり活動している「こども宅食」へ政府備蓄米を提供することを実現しました。今年度は提供できるお米の量も増えています。



学童保育の拡充を下村政調会長へ申し入れ。
受入拡大・負担軽減・学習支援を推進。



コロナ関連の法案も多く審議される中、
議員立法の草案責任者として国会答弁。

メルマガさいとう健

名前・住所の登録不要。

月刊さいとう健では伝えきれない内容満載。

返信すれば匿名で意見を伝えられます。

<http://www.saito-ken.jp/info/melmaga.html>



討議資料

～ 後援会入会はコチラまで ～

さいとう健 後援会事務所（流山おおたかの森駅 北口すぐ）
〒270-0119 流山市おおたかの森北1-5-2セレーナおおたかの森2階
TEL: 04-7190-5271 FAX: 04-7190-5272 E-mail: info@saito-ken.jp
さいとう健 国会事務所
〒100-8981 千代田区永田町2-2-1衆議院第一議員会館822号室
TEL: 03-3508-7221 FAX: 03-3508-3221